



ご 祝 辞

尾道市議会議長 藤 本 友 行

第21回尾道市長旗争奪シニア野球大会の開催、誠におめでとうございます。

関西連盟21チーム、東海連盟4チーム、九州連盟2チームの27チーム、1,000名を超える人々が参加をされ、大会を盛り上げていただきますことは、尾道市にとりまして、大変喜ばしく、心より厚くお礼申し上げます。

今大会は、中学生のトップレベルの選手が集い、熱戦を繰り広げられるとお聞きしております。中学球児と呼ばれる選手の皆さんは、将来は強豪と言われる高校へ進学し、甲子園出場を目指し、さらに社会人やプロ野球への入団を目標に日々練習に励んでおられると思います。

さて、野球は、チーム戦と個人戦の両方を有する数少ないスポーツだと思います。基本的に、打席ではバッター対ピッチャーとなりますが、守備陣のシフトや連携プレー、サインプレー、走塁等によるチーム援護もあり、試合では作戦やチームワークも重要ですし、時には個人の技量・判断力も勝敗を分けることがあります。

選手の皆さんも、今大会のような大きな試合を通じて、指導者のご助言にしっかりと耳を傾け、技術力・判断力をしっかりと磨いて、今大会の経験を糧に将来の夢に向かってがんばっていただきたいと思います。

また、大変暑い時期ですので、水分補給を十分にされ、熱中症や怪我等にも十分に気をつけてプレーしてください。

結びになりますが、本大会の開催にご尽力くださいました関係者の皆様に、心から敬意を表しますとともに、大会が実り多い、そして心に残るものとなりますよう祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。